

平成20年度日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞候補者の募集

日本エイズ学会
理事長 山本直樹

日本エイズ学会では、平成12年度より HIV 感染症に関する研究およびその他の活動を奨励するために、若手研究者を対象に表記奨励賞を設けました。これは、ECC 外語学院初代理事長故山口勇氏のエイズ撲滅のために学術助成をしたい、というご遺志に基づいて、ECC 外語学院から寄付された基金によって運営されている研究奨励賞です。候補者の選考は毎年1回、授賞式は毎年の総会時に行います。下記の応募要項に則り、奮って応募してくださいよう期待しております。

応募要項

1. 応募資格

- (1) 日本エイズ学会会員であること。
- (2) 年齢は当該年12月1日において40歳未満であること。
- (3) 研究およびその他の活動について、領域は問いません。

2. 応募締切

平成20年8月29日(金)(必着)

3. 応募書類の提出先

日本エイズ学会研究奨励賞選考委員長 松下 修三
〒860-0811 熊本市本庄2-2-1 熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野
TEL : 096-373-6536 FAX : 096-373-6537 E-mail : shuzo@kaiju.medic.kumamoto_u.ac.jp

4. 応募書類の請求先

希望者はEメールにて、事務局あてに応募用紙を請求してください。
〒112-0002 東京都文京区小石川4-13-18 (株)微生物科学機構内
日本エイズ学会事務局 E-mail : biseibutsu-com@umin.ac.jp
TEL : 03-6231-4030 FAX : 03-6231-4035

5. 推薦書

応募に際しては、日本エイズ学会理事1名もしくは評議員1名の推薦書(様式自由)を添付してください。

6. 選考

理事会から委嘱された選考委員会(7名)で、毎年1~2名の候補者を選考します。受賞者の決定は選考委員会の選考を経て、理事会で行います。

7. 賞状ならびに副賞(研究奨励費)

受賞者には賞状と副賞(研究奨励費)50万円を授与します。

日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞の選考規程

- 1) 若手研究者の HIV 感染症に関する研究およびその他の活動を奨励する目的で、若手研究者から申請を募り、選考委員会の審査を経て理事会にて毎年1~2名の受賞者を決定し、総会時に研究奨励賞(合計100万円)を贈呈する。
- 2) 応募資格は、エイズ制圧に寄与する研究およびその他の活動を行い、将来の発展が期待できる日本エイズ学会員で、当該年12月1日において40歳未満の会員を対象とする。
- 3) 履歴書、研究成果の概要、業績目録またはそれに代わるものを様式にしたがって作成し、日本エイズ学会理事1名もしくは評議員1名からの推薦書(形式自由)を添付した形で申請する。
- 4) 受賞者論文は日本エイズ学会誌に掲載する。
- 5) 選考委員会(7名)

委員長 : 松下 修三

委員 : 池上千寿子, 岡 慎一, 岡本 尚, 木原 正博, 白阪 琢磨, 原田 信志

日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞

※現在までの受賞者は次の通りです。

年 度	開催数	氏 名	所 属	業績の題目
平成 12 年度	第 1 回	杉浦 互	国立感染症研究所	薬剤耐性 HIV-1 株の遺伝子解析と治療への還元についての研究
〃		松原 新	MASH 事務局	HIV 感染予防介入活動方法 (MASH) の確立についての研究活動
平成 13 年度	第 2 回	中山 英美	大阪大学微生物病研究所	ゲノム多型解析による HIV-1 感染とエイズ病態に関わる宿主因子の検索
〃		吉田 敦	東京大学医学部附属病院	CMV 感染症における real-timePCR 法を用いた CMV 遺伝子定量の有用性
平成 14 年度	第 3 回	渦永 博之	国立国際医療センター	薬剤耐性 HIV の in vivo および in vitro における研究
〃		米澤 昭仁	University of California San Francisco	1. ケモカインレセプターを介する HIV-1 の細胞侵入機構の解析 2. I 型インターフェロン産生細胞の HIV-1 感染症と免疫応答
平成 15 年度	第 4 回	松岡 佐織	国立国際医療センター	薬剤耐性 HIV における臨床研究
平成 16 年度	第 5 回	立川(川名) 愛	東京大学医科学研究所先端医療研究センター	HIV 感染における細胞性免疫応答についての解析
〃		前田 賢次	熊本大学大学院医学薬学研究部	ケモカインレセプターを介して抗 HIV 作用を発揮する新規抗 HIV 剤の研究
平成 17 年度	第 6 回	今井 健一	名古屋市立大学大学院医学研究科	Tat と NF- κ B による HIV 転写調節機構に関する研究
〃		岡本 実佳	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	宿主細胞因子を標的とした HIV-1 抑制に関する研究
平成 18 年度	第 7 回	サマン・ザマニ	京都大学大学院医学研究科	イラン国の薬物使用者の HIV 感染や行動の実態とハームリダクションの評価に関する社会疫学的研究
〃		吉野 直人	岩手医科大学医学部	HIV/AIDS ワクチン開発の基礎的研究および日本における母子感染の臨床的・疫学的研究
平成 19 年度	第 8 回	関 康博	熊本大学大学院医学薬学研究部	薬剤耐性 HIV に対して高い活性を発揮する新規のプロテアーゼ阻害剤の開発
〃	〃	日高 庸晴	京都大学大学院医学研究科	MSM (Men who have Sex with Men) の HIV 感染リスク行動の心理・社会的要因に関する行動疫学的研究